

# 学校評価結果（平成30年度）

## I 自己評価

### 1. 本園の教育目標

発達に応じた楽しいあそびの中で、知・体・徳のバランスのとれた教育を展開し心身ともに元気で明るい、のびのびした子どもを育てることを目指す。

- ・心身ともに元気に明るい子どもを育てる。
- ・自ら進んで新しい発見をし、喜びを持ち工夫する子どもを育てる。
- ・自分や他人を大切にし、みんなと仲良く協力できる子どもを育てる。
- ・規則正しい生活ができ、自ら安全な行動のできる子どもを育てる。

### 2. 本年度の重点的に取り組む目標、計画

子どもに様々な体験を通し人間としての基礎の部分の成長を促す  
職員間での情報の共有化の密度を高め、子どもの成長に即した丁寧な保育を行う

研修に積極的に参加し教員の質の向上に努める

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

保育内容	一年間の指導計画に基づき、計画通りに保育および行事を行うことが出来た。
子どもへの共通理解	子どもの様子や成長過程、問題点など職員間での話し合いを多く設け、職員での共通理解に努めた。また共通理解のもとで職員全員が子どもたちに寄り添った保育を行うことが出来た。
教育者としての資質の向上	日々保育内容や指導内容などを確認し合い、より質の高い保育を行えるように努めた。また幼稚園連合会などの公的な研修に積極的に参加し保育者の資質の向上に努めた。
地域の子育てセンターとしての活動	日々、幼稚園として保護者の子育ての相談にあたった。また親子未就園児教室に開催し、子育てセンターとしての役割を果たすとともに、満2歳以上を対象に親子体操教室を開催し地域の子育ての貢献に努めた。

安全面や施設面での取り組み	日々設備や施設の点検を実施し、都度改善を行った。また交通安全指導や避難訓練を行い災害時の対応への意識の向上を図った。
---------------	--

#### 4. 学校自己評価の総合的な評価結果

地域の幼稚園として子どもたちに質の高い保育を提供できるよう日々研鑽に努め、子どもたちの成長に即して丁寧な保育を行うことが出来た。

職員間での話し合いを多く設け、職員全員で子どもたちの共通理解が図れた。

#### 5. 今後の課題

平成30年度や台風や地震などの災害が多く起こり、施設面や対応面でのより一層の整備が求められる。点検やマニュアルの整備など見直しに努め、子どもたちが安全に過ごせるようしっかりと対応していく必要がある。また当園の特徴である子どもたちの成長に即した保育をこれからもしっかりと継続し浸透させていかなければならない。

## II 学校関係者評価

幼稚園関係者の方々には主に行事を通して日頃の保育の成果を見て頂き適正に運営されているとともに、30年度の自己評価についても適正であると認められた。

今後も子どもたちの健全な成長のためにより一層頑張ってもらいたいとの言葉を頂きました。